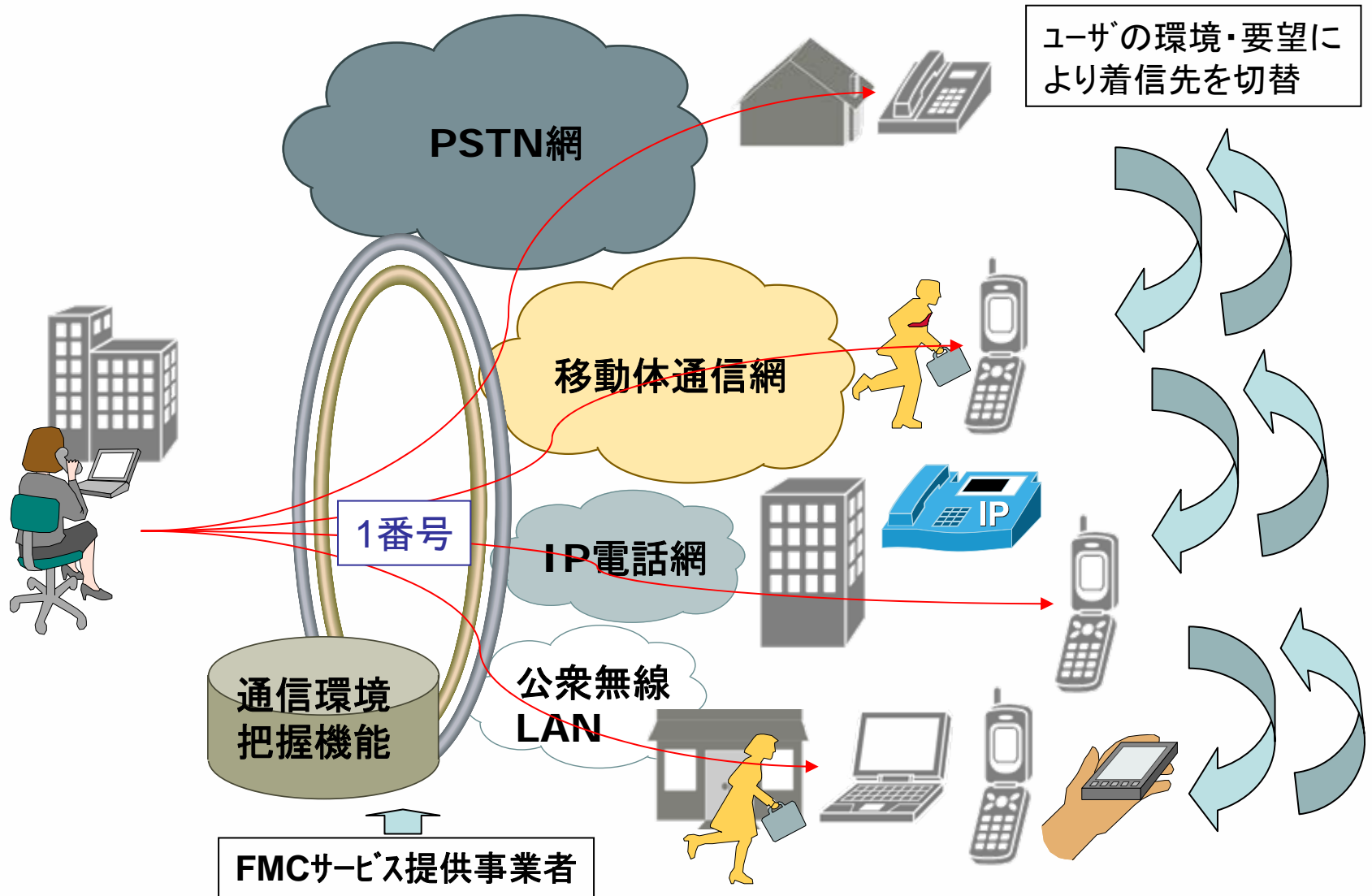


FMCにおける電気通信番号の在り方に関する提案

2005年10月25日
日本テレコム株式会社

For Your Networking Universe

1. FMCサービス概要(イメージ)



2. FMCサービス概要(仕様イメージ1)

サービス仕様の前提

- ・現在の電気通信番号に求められている「品質の識別」「料金の識別」などの役割の枠組みを崩さない
- ・将来のユビキタス社会の中核となりうるFMCサービスについて、既存事業者と新規事業者の公平性を確保し、新規参入を容易にする

(1) 着信端末

1 番号にて基本的に全事業者網に着信(ユーザの環境・要望により着信端末を選択・切替)

- ・固定電話(0AB・・・J)
- ・移動電話(080/090・070)
- ・IP電話(050)
- ・公衆インターネット電話／PDA／携帯電話アプリ

(2) 通話料金

(1) 料金設定

FMCサービス提供事業者がエンド・エンドで通話料金設定

通話料金は発信者が負担(着信端末切替設定費用は着信者が負担)

(2) 通話料金水準

着信端末に係わらず一律料金設定(平均的な水準(固定と移動の間)か)

2. FMCサービス概要(仕様イメージ2)

(3) その他

- ・FMCサービスについては事業者間番号ポータビリティを実現
- ・FMC番号への発信を促進するため、FMCサービス加入者から発信時の発IDはFMC番号を送出
- ・着側端末には既存番号でも着信(着信側事業者のサービス)

(4) サービス提供時期

2007年度中目途

3. FMCの電気通信番号について

FMC電気通信番号付与案

案1: FMC用番号として新番号(0A0)を付与

案2: 既存の番号を利用

案2-1 固定電話番号(0AB...J)を利用

案2-2 携帯電話番号(080/090CD...JK)を利用

案2-3 IP電話番号(050)を利用

案2-4 上記案2-1~2-3を自由に利用

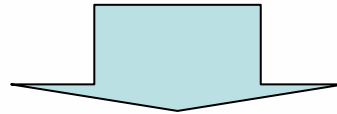
案3: UPT用番号(060)を利用

4. FMCの電気通信番号についての評価

	案1 (新0A0)	案2(既存番号を利用)				案3 (UPT060)
		案2-1(0AB・J)	案2-2(080/090)	案2-3(050)	案2-1~3を併用	
ユーザ利便性	ユーザにとっては新たな番号	既存番号をそのまま利用可	既存番号をそのまま利用可	既存番号をそのまま利用可	既存番号をそのまま利用可	着信者(個人)を識別する番号として既に定義 ※品質等の定義はなし
サービス識別	新たなサービスとして周知すれば問題なし	想定するサービスと異なり混乱する可能性あり	想定するサービスと異なり混乱する可能性あり	想定するサービスと異なり混乱する可能性あり	想定するサービスと異なり混乱する可能性あり	
品質の識別	新たなサービスとして周知すれば問題なし	低クラスのサービスにも接続されるため問題あり	低クラスのサービスにも接続されるため問題あり	低クラスのサービスにも接続されるため問題あり	低クラスのサービスにも接続されるため問題あり	
料金の識別	新たなサービスとして周知すれば問題なし	現行より高料金の可能性があるため問題あり	現行の携帯料金より高くなる可能性は少ないか？	現行より高料金の可能性があるため問題あり	現行より高料金の可能性があるため問題あり	
地域の識別	新たなサービスとして周知すれば問題なし	想定する着信先と異なり混乱する可能性あり	元々着信地域の識別がないため問題なし	元々着信地域の識別がないため問題なし	想定する着信先と異なり混乱する可能性あり	
事業者間の公平性	既存/新規事業者間で同等	既存事業者が優位	既存事業者が優位	既存事業者が優位	既存事業者が優位	
番号容量	桁数・新規割当番号の検討は必要	不足する恐れ大	不足する恐れ小	不足する恐れ大	不足する恐れ小	
関係する各社の網改造	大規模	小規模	小規模	小規模	小規模	小規模

5. FMCの電気通信番号についての当社提案

現行のUPT番号(060)がFMCサービス用番号としては最も問題が少ないと考えられるが、現在の付与条件としての実現方式(ITU標準に準拠)の規定が今後の安価な新技術の導入を阻害する恐れがある。



当社提案

着信端末の種別を意識せず、個人を識別する新たな番号「0A0」をFMCサービス用番号として付与頂きたい。(技術的制限なし)

※UPT用番号(060)の仕様の緩和もあり得る。

◎検討課題

- ・番号容量(桁数)
- ・付与ルール
- ・料金設定権の問題 等